



11月の行事報告 November

壮年会・婦人会カラオケ交流会開催

今回、11月7日(土)の壮年会・婦人会合同法座終了後、初めての交流事業として、カラオケ交流会を開催しましたところ、総勢20余名の参加を得ました。日頃の腕前を披露され、大いに歌いまくり、時間も経つことも忘れ、いい雰囲気の中でカラオ

ケ交流会は終了しました。今回のカラオケ交流会を通して、参加者はこのような機会を今後とも続けましょと確認し、カラオケ交流事業を締めくりました。 (石井保 記)



前住職・築地本願寺の報恩講で東京教区(関東圏)代表として焼香

築地本願寺では報恩講が、11月11日から16日まで勤まりました。その最終日のご満座法要は10時から始まりました。前住職が東京教区の僧侶代表として焼香をされました。雅楽演奏が荘重な調べを奏でるなか、前門主が「報恩講私記(式)」を朗読、その後、前住職は第1級の盛装で黄金に輝く内陣でのお勤め、誠に壮観でした。当寺からは、20名が参加しました。 (山奥 努 記)



平成27年度中原寺仏教壮年会活動の振り返り



平成27年度の年間活動を総括しますと、1月の壮年会総会から始まり2月には、東京教区仏教壮年会連盟結成記念日研修会が群馬県で開催され、3月は春季彼岸会法要が行われ、4月は花まつり・入門式がありました。5月にはご旧跡参拝一泊旅行で水上温泉での楽しいひとときを過ごしました。7月には中原寺門信徒ファミリーパーティー、8月は夏休み子ども合宿、9月に入り秋季彼岸会法要、10月には中原寺文化講演会が盛大に開催し、11月は報恩講連夜法要・日中法要、12月には今年度最後の行事として年末懇親会が行われ、今年は懇親会会場を「くいしん坊」に移して婦人会の参加を得て楽しく交流を図りました。

その他、壮年会行事として年6回の法座で内2回は婦人合同として開催を実施しました。初めて試みで、婦人会との交

流事業として、カラオケ交流会を実施しました。今年1年の中で非常に残念なことは壮年会会員の厚朴興二様が9月29日にご逝去されたことでした。会員の皆様には、くれぐれもお身体には十分注意をして頂き、新しい年を迎えて頂きたいと願う次第です。

お寺の行事、壮年会の行事、親睦等の活動を振り返って、反省を踏まえて来年度の各種行事等を進めて参りたいと思います。今後も壮年会行事、中原寺行事等に一人でも多くの参加を頂ければと思います。ぜひ暇を見つけてご来寺頂ければと願っております。合掌 (石井 保 記)

訃報のご案内

厚朴 興二 様 / 平成27年9月29日 逝去

謹んで哀悼の意を表します

平成28年1月～4月 壮年会行事

1月の行事

1日(金) 8時 元旦修正会・ご流盃の儀
17日(日) 13時 常例法座
24日(日) 13時半 壮年会理事会
14時半 壮年会 年次総会
新年会 ※当日、年会費を受付けます。

21日(日)・22日(月) 東京教区第36回仏壯連盟結成記念研修(箱根：富士屋ホテル)

3月の行事

20日(日) 13時 宿縁廟法座・春季彼岸会法要

4月の行事

3日(日) 10時半 花まつり
13時半 壮年会-2・婦人会合同法座
17日(日) 10時 入門式
13時 常例法座

編集後記(壮年会だより:平成27年12月「冬号」会報)

皆様方からの暖かいご援助のおかげで、本年も「壮年会だより」を無事3号発行することが出来、誠にありがとうございました。来年も、かわらぬご支援を、よろしくお願ひ申し上げます。合掌

あわただしい師走の候ですが、皆様ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。10月に恒例の第27回文化講演会(向野幾世先生)が、11月には、親鸞聖人報恩講法要がおごそかにとり行われました。

9月19日安倍政権は、「憲法違反の『戦争法案』」を強行採決、日本宗教者平和協議会をはじめとする憲法を守りいかす多くの団体から反対の声明が出されました。私たちはお念仏のこころをいただき、目先の事象だけにとらわれる事なく、阿弥陀様の本願にお任せする平和な世界を念じましょ。

【住・職・閑・話】



数か月ほど前から数回、「グチコレ」という活動に参加しています。「グチコレ」とは「グチコレクション」の略で、街行く人、イベントに集まっている人、さらにはバーでお酒を飲んでる人など、様々な人から愚痴を聞かせてもらい、それをインターネット上で公開して社会全体に共有することによって孤独という現代の問題の解消を目指すというもの。

京都にある龍谷大学の学生有志によって始められたもので、ストレス社会といわれる現代において愚痴を溜めこむことなく、はき出してもらいたい、また公開された他人の愚痴に共感し、ほんの少し気持ちが楽になることもあるだろうとのコンセプトから生まれました。最初は「愚痴を初対面の人に話すなんて…」と言っている人でも、「どんな些細なことでも良いので聞かせてください。」とお話すると、出るわ出るわでこちらの想定以上にお聞かせいただくこともあります。もしかしたら見も知らぬお坊さんだからこそ、愚痴が言いやすいということもあるでしょう。

本来「愚痴」とは、自らの悩み・煩い・苦しみの原因となる煩惱の一つで、ものごとの真理を見抜くことができずに絶えず自分中心の生きかたをする愚かなころのありさまで。常に私が正しく相手が悪いという観点から抜け出せず、自己中心的な考えで生きる私たち人間の本能とも言えるでしょう。

仏教には「一水四見」という言葉があります。これは人間にとっての河(=水)は、魚からすると自分の住む生活の場であり、天人からみると宝石の輝きをもった歩くことができる床になり、餓鬼にとっては飲もうとした瞬間に火に変わる苦しみが存在と見える、つまり立場が変わることで見え方・感じ方が全く変わるということです。

つらく苦しいと思える現在の境遇も、自らの視点を少し移すことで気持ちが楽になることもあるでしょう。相手の立場になって考えてみたら、それまでの怒りが和らいだり、大きな失敗でも自分を成長させてくれる糧とするならば、「明日からまた頑張ろう」と前向きに進めることもあるはずですよ。

とはいっても、たまには職場や家族の愚痴を言いたくなる事もあるでしょう。そんな時は、あなたのグチを聞かせてください。

10月の行事報告 October

◆グラウンド・ゴルフ「天真寺壮年会」との交流会開催10月2日(金) 午前10時スタート

天真寺の仏教壮年会メンバーとのグランドゴルフ交流会を松戸市金ヶ作運動公園にて開催をしました。

中原寺メンバーは河合門信徒会長をはじめ奈良さん、山田さん、石井と壮年会から4名、婦人会から本間さん、村田さん、長谷川さんの3名、計7名で参加をしました。天真寺メンバーは坊守さんをはじめ、壮年会・婦人会の皆さん9名とグランドゴルフの交流を行いました。はじめてグランドゴルフをやられたという人もおりましたが、双方とも今回の行事で交流を深めたと思っ



ており、今後も交流会を続けて行こうと思っております。結果、優勝は天真寺の大久保潔さん、準優勝は中原寺の河合功さん、第三位は婦人会の長谷川春美さんでした。参加された皆様大変ご苦労様でした。合掌 (石井 保 記)



證誠寺たぬき祭りに参加して

今回、ご縁を頂いて10月17日(土)に開催されました證誠寺たぬき祭りに壮年会メンバー3人で参加をして参りました。

当日は、木更津市観光協会の応援もあり大勢の参拝者が訪れ、盛大に開催されました。たぬきばやしの音楽で小学生

達の踊りが披露され、見学者からの盛んな拍手を頂いていたのが印象深かったことでした。たぬき祭り終了後に證誠寺壮年会のメンバーとの交流会では、證誠寺のご住職も参加され短時間ではありましたが、お互いの行事等について懇談を深めて、会場を後にしました。他のお寺行事に参加したことは、大変有意義な体験でありました。合掌 (石井 保 記)